

審査結果報告書

令和元年9月4日

主査 氏名

柳谷 和寿



副査 氏名

江島 耕二



副査 氏名

西山 和利



副査 氏名

山岡 邦宏



1. 申請者氏名 山上 明子

2. 論文テーマ：日本における抗アクアポリン4抗体陽性視神経炎の臨床的特徴および治療状況と維持療法の有効性の検討

3. 論文審査結果：

申請者は、標記題目に関して、博士学位審査の発表を行った。本研究は、抗AQP4抗体陽性視神経炎の臨床的特徴と治療状況および維持療法の有効性について、比較的多数例でレトロスペクティブに検討した内容である。臨床的特徴としては女性が多く、両眼発症が約50%（同時発症は約17%）と多かった。治療は全例ステロイドパルスが施行され、効果不良例で血液浄化療法が併用されており、治療後も視機能は重篤な視力・視野障害が残存している例が多かった。また急性期治療後継続して維持療法を行っていた群と維持療法を行っていない期間があった群を比較すると年間再発率および総発作回数とともに急性期治療後継続して維持療法を行った群で有意に低かった。間接的な傍証ではあるものの、維持療法は再発予防に有効であることが示唆された。

申請者は、副査や主査からの質疑応答に的確に対応し、本研究に関して高い科学的知識、洞察力や思考力を持ち合わせていることが確認できた。以上のことと、提出された学術主・副論文の内容を考慮し、申請者である山上 明子先生の研究内容が、博士学位に相応しいと全員一致で判断した。